

普及項目	増殖・養殖
漁業種類等	採藻業・養殖業
対象魚類	ヒジキ・ヒトエグサ
対象海域	八代海

芦北町地先における海藻増養殖の普及

県南広域本部水産課・上原 大知

【背景・目的・目標（指標）】

葦北郡芦北町地先（図 1）においては、春季に一部の漁業者がヒジキを収穫しているが、令和 2 年 7 月豪雨以降、生育範囲が減少し、収量も減っているとの情報が寄せられた。

これを受けて、ヒジキ漁業を持続可能なものとするため、勉強会等を通じた増殖指導を行った。併せて、新たな養殖種の導入による漁業者の所得向上につなげるため、ヒトエグサ養殖を紹介し、先進地である天草地域の視察を企画、実施することとした。

【普及の内容・特徴】

令和 7 年（2025 年）7 月、ヒジキの収穫を行う漁業者に対して、水産研究センターが作成した「ヒジキ資源・品質管理マニュアル」（平成 25 年（2013 年）3 月作成、図 2）を配付し、ヒジキの増殖方法を考慮した収穫の仕方や、品質の見分け方を説明した（図 3）。

同年 12 月には、ヒジキの増殖方法及びヒトエグサの養殖方法に関する勉強会を開催し、改めてヒジキの収穫の仕方や、漁業者が自ら取り組めるヒジキの増殖方法について説明した。また、ヒトエグサ養殖の概要や必要となる資機材について紹介した（図 4）。なお、ヒトエグサ養殖については、漁業者から「実際の養殖現場を見てみないとイメージが湧かない」との声があったため、令和 8 年（2026 年）2 月に、漁業者や芦北町の職員とともに、養殖先進地である苓北町のヒトエグサ養殖場及び加工場（図 5）、天草市五和町のヒトエグサ養殖場（図 6）の視察について、調整を行い、現地の漁業者との意見交換を行った。

【成果・活用】

ヒジキの勉強会においては、漁業者から「これまで刈り取り時に一定の長さの根を残す意識はなかったので、実践したい」との声があった。

ヒトエグサの養殖場及び加工場の視察においては、加工機器や製品にするまでの流れ、養殖網の高さ調整等について、漁業者間で具体的な意見交換が行われた。

今後は、芦北町地先において、漁業者と連携し、基板を用いたヒジキの増殖及びヒトエグサ養殖の適地探索を行うこととしている。

【達成度・自己評価】

4 目標（指標）はほぼ達成できた（76～100％）



図1 位置図

(●普及実施場所、●先進地視察)

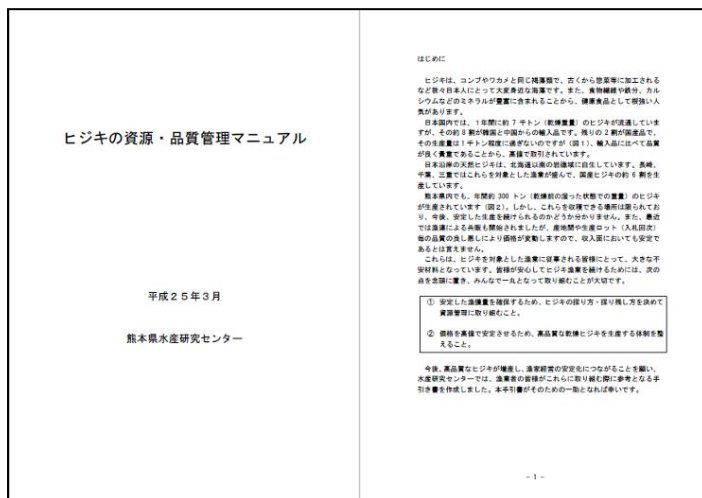


図2 ヒジキ資源・品質管理マニュアル



図3 漁業者へのマニュアル説明



図4 ヒジキ・ヒトエグサ勉強会



図5 苓北町のヒトエグサ加工場視察



図6 天草市五和町のヒトエグサ養殖場視察